

2005 年度
連結決算・事業報告を中心に
2005.4.1 ~ 2006.3.31



鉄道事業における「安全」と沿線価値の向上を図り、「信頼のトップブランド」の確立を目指します

京王電鉄株式会社 取締役社長 加藤 真



連結当期純利益は198億円を計上
1株あたりの年間配当金は6円に

平素は、京王グループをご愛顧いただきまして、まことにありがとうございます。

当期(2005年度)の京王グループは、各事業セグメントにおいて着実かつ効率的な事業活動を展開し、引続き収益力の維持向上に努めてまいりました。この結果、連結当期純利益は198億円、京王電鉄における当

期純利益は133億円となりました。

当期の利益配当金につきましては、1株につき3円(中間配当金を含め年間6円)といたしました。次期以降につきましても、安定的な利益の確保に努め、この配当水準を維持できるよう努力する所存でございます。

将来の経営環境を見据えた「基盤づくり」を進めます

京王グループは、2003年度を初年度とする「連結中期経営計画」の3カ

年を、グループ全体の成長のための「将来に向けた布石づくり」の期間と位置づけ、「鉄道事業に続く生活関連事業の育成」を目指して、新タイプのスーパーマーケット「キッチンコート」や宿泊特化型ホテル「京王プレッソイン」などの新しい事業を展開してまいりました。これにより、最終年度のグループ経営目標値は連結営業収益を除き、ほぼ達成することができました。

当期は、鉄道事業では、調布駅付

近連続立体交差事業を進捗させたほか各種安全対策を実施しました。また、久我山駅では改良工事を完成させたほか、駅施設や車両のバリアフリー化を進めました。さらに、携帯電話の電源をお切りいただくエリアを、分かりやすくするために「おもいやりぞーん」としてPRするなど新しい施策にも取り組みました。流通業では、京王百貨店新宿店で1階フロアの改装を実施するなど集客力の強化に努めました。さらに、不動産業では、賃貸デザイナーズマンションの展開や商業施設開業による賃貸資産の拡充など、事業規模の拡大に取り組んでまいりました。

なお、第三者による京王プレッソインの構造計算書偽装の件につきましては、株主の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。構造計算書の偽装が判明した3店舗(茅場町、五反田、池袋)につきましてはすでに建物の解体に着手しており、

建替え工事を行うことを決定いたしました。今後とも、お客様のニーズに応えるべく、京王プレッソイン事業については一層の拡充に努めてまいります。

2006年度計画では、将来の経営環境を見据えた「基盤づくり」を進めます。特に、鉄道事業におけるさらなる信頼性向上と、沿線価値向上を最優先課題と位置づけております。京王グループの基幹事業である鉄道事業においては「安全」は最大の使命であり、最高のサービスであると認識しております。安全対策への重点的な取り組みに加え、サービス向上等に努めることで、お客様から「選ばれた沿線」を目指してまいります。

コーポレート・ガバナンスの強化と、環境経営に取り組み、企業の社会的責任を果たします

京王グループでは、すべてのステークホルダーから信頼いただき、企業価

値向上を実現するため、内部統制システムの確立やコンプライアンスプログラムの実施など、コーポレート・ガバナンスの強化に努めております。

また、高尾山や多摩川における「京王クリーンキャンペーン」の実施や、「高尾の森再生」ボランティア活動の支援を行っているほか、これらの社会貢献活動、環境保全活動に関する情報を報告する社会環境報告書を発行しております。

今後も、地域社会の一員として、法令を遵守し、企業の社会的責任を果たしていくとともに、地域社会の発展や文化の振興にも積極的に取り組むことにより、「信頼のトップブランド」の確立を目指してまいります。

皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2006年6月

連結決算上の事業セグメント分類 (2005.4.1～2006.3.31)

事業セグメント別の営業収益・営業利益

事業セグメント間取引を含む数字 (単位:百万円)

事業セグメント	営業収益	営業利益	当期 2005年度	前期 2004年度	増減率(%)
運輸業	営業収益	営業利益	128,519	126,700	1.4
			20,896	19,671	6.2
流通業	営業収益	営業利益	188,697	186,299	1.3
			5,614	4,603	22.0
不動産業	営業収益	営業利益	24,322	24,192	0.5
			8,473	7,432	14.0
レジャー・サービス業	営業収益	営業利益	84,775	84,242	0.6
			3,481	3,752	7.2
その他	営業収益	営業利益	51,777	49,330	5.0
			2,045	1,978	3.4

鉄道事業が輸送人員の増加により増収となったほか、バス事業でも路線、高速ともに増収となりました。

百貨店業が増収となったほか、ストア業、書籍販売業でも新規店舗の通期稼働が寄与し増収となりました。

不動産販売業が減収となったものの、不動産賃貸業における大型物件の本格稼働により増収となりました。

ホテル業の「京王プラザホテル(新宿)」が堅調に推移し増収となりましたが、京王プレッソイン3店舗の営業休止などにより減益となりました。

ビル清掃・管理業、車両整備業の受注増や「高尾の森わくわくビレッジ」の開業により増収となりました。

営業収益の構成比率

構成比率は、事業セグメント間取引を含む営業収益に対する比率です

レジャー・サービス業

京王観光
京王プラザホテル
京王プラザホテル札幌
京王プレッソイン
京王エージェンシー
京王レクリエーション
レストラン京王
京王コスチューム

その他

京王設備サービス
京王重機整備
東京特殊車体
京王建設
京王電鉄 情報通信)

京王ネットワークコミュニケーションズ
京王アカウントینگ
京王ビジネスサポート
京王情報システム
京王ユース・プラザ
京王シンシアスタッフ
新東京エリート

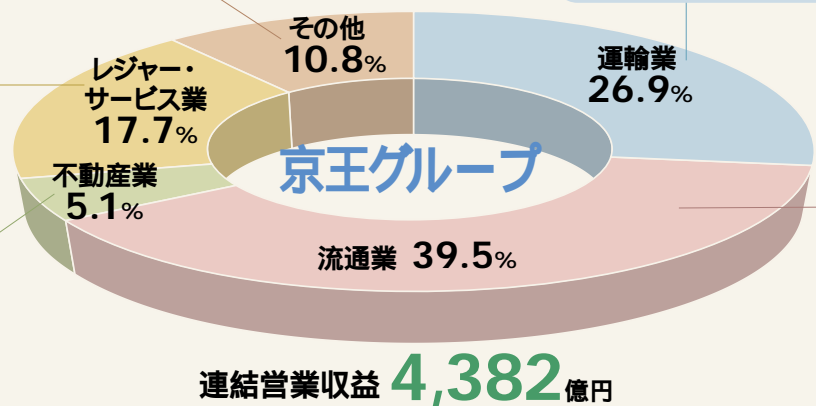
運輸業

京王電鉄(鉄道)
京王電鉄バスグループ
(京王電鉄バス
京王バス東
京王バス中央
京王バス南
京王バス小金井)

西東京バス
多摩バス
京王自動車
京王運輸
御岳登山鉄道

流通業

京王百貨店
京王ストア
京王リテールサービス
京王書籍販売
京王電鉄ショッピングセンター)
京王バスポートクラブ
京王アートマン
京王食品
京王グリーンサービス
京王商事
エリート
京王友の会



印は持分法適用会社です。なお、事業セグメント分類上、京王電鉄が重複して含まれております。

(注)京王観光は2005年4月1日付で駅売店業を分割し、同事業について新会社「京王リテールサービス」に承継させております。

京王グループ事業概況

運輸業

駅施設改良・バリアフリー化の推進など旅客サービスの向上を推進

鉄道事業では、調布駅付近連続立体交差事業について、引続き用地取得や杭打ち工事、鉄道施設の仮設化工事などを進めました。駅改良工事については、久我山駅で工事が完成したほか、池ノ上駅で北側出入口を新設いたしました。また、高幡不動駅では橋上駅舎化のための人工地盤の設置工事を進めました。



橋上化が完成した久我山駅

駅施設については、国や自治体からの補助金を活用するなどにより、幡ヶ谷駅など8駅にエレベーターを設置いたしました。このなかで、京王多摩センター駅の改札内にエレベーターを設置したことにより、相模原線全11駅で段差の解消が図られました。さらに、車いすスペースや車内電光表示板などを備え、軽量で省エネルギー仕様の9000系車両を20両投入するとともに、既存の7000系車両24両を改造いたしました。

また、芦花公園駅にホーム下退避スペースを増設したほか、踏切道では歩道を明確にするためのカラー舗装化



北側出入口を新設した池ノ上駅



「おもいやりゾーン」

や、遮断桿にくくりぬけ防止のための啓発テープを設置するなど、各種安全対策を進めました。

このほか、京王線・井の頭線の全車両で、携帯電話の電源を切っただけエリアをより分かりやすくするため、優先席付近のつり輪などの色を変えた「おもいやりゾーン」を設置いたしました。

営業面では、新たに「ぶらり子さんの江戸さんぽ」キャンペーンを東京都交通局などと共同で実施するなど、お客様の誘致に努めました。当期の輸送人員は、沿線人口の増加などにより、前期に比べ1.3%増となりました。

京王グループ事業概況



夜行高速バス仙台線「新宿～仙台・石巻」

新規需要の開拓とサービス向上を図る

バス事業では、路線バスにおいて、基幹路線の輸送力増強や深夜帯の増便などが輸送人員の増加に寄与いたしました。

また、都内で初めてベーカーをたまたまに乗車ができるようにするなど、サービスの向上に努めました。このほか、ノンステップバス94両を導入し、この結果、路線バス全車両の88%がバリアフリー対応となりました。

高速バスでは、名古屋線(新宿～名古屋)で「愛・地球博(愛知万博)」の開催期間にあわせ、お客様の需要に応じて増発や女性専用車を運行した



サポートCab

ほか、その他の既存路線も好調に推移いたしました。さらに、高遠線(新宿～高遠)および仙台線(新宿～仙台・石巻)の運行を開始するなど、増収に努めました。

タクシー業では、症状の軽い患者を搬送する民間救急タクシー「サポートCab」サービスを、多摩地域で開始いたしました。

流通業

新規店舗の出店など積極的な営業施策を展開

百貨店業では、「阪神タイガース優勝記念セール」を開催したほか、「京王百



京王百貨店 新宿店

貨店」新宿店1階婦人雑貨フロアや2階ハンドバッグ売場の改装を実施いたしました。

ストア業では、「京王ストア」桜ヶ丘店において、食品売場を中心とした増床を行い、生鮮食品や惣菜の売場を充実させるなど、競争力の強化に努めま



京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター 8階レストラン街

した。

「京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター」では、3月に開店20周年を迎えるにあたり、A館7階専門店街、B館ファッション専門店街および8階レストラン街の改装を実施したほか、「京王百貨店」聖蹟桜ヶ丘店と連携し、「せいせき北海道フェア」を開催するなど、ショッピングセンター全体での集客力の強化に取り組みました。また、開店10周年を迎えた「京王府中ショッピングセンター」においては、東モール1階部分の増築を行い、「和」をコンセプトとした飲食店街「食舞台 つづみ」として一部をオープンいたしました。

さらに、沿線外への初めての出店と



「ベーカリー&カフェ ルパ」久我山店

なる「京王アートマン」新百合丘店をオープンしたほか、久我山駅構内に「啓文堂書店」「ベーカリー&カフェ ルパ」、コンビニエンスストア「K-Shop」をオープンするなど、収益力の向上に努めました。

京王パスポートカードについては「京王グループ共通ポイントサービス」の浸透を図り、3月末における会員数は約88万人となっております。

不動産業

沿線における賃貸資産の拡充・収益機会の拡大

不動産賃貸業では、「コナミスポーツ



フレンテ新宿



京王平山住宅地「美来の丘」

クラブ 本店八王子」、賃貸デザイナーズマンション「Hi-ROOMS哲学堂」がそれぞれ完成し、賃貸を開始いたしました。

また、商業施設では、京王新線新宿駅に隣接する地下通路に「フレンテ新宿」をオープンしたほか、「京王リナード八幡山」「京王リナード高井戸」の一部をオープンいたしました。このほか、「京王リナード稲城」や「フレンテ明大前」の建設に着手するなど、引続き賃貸資産の拡充に努めております。

不動産販売業では、八王子みなみ野シティ「京王四季の街」や京王平山住宅地「美来の丘」、京王めじろ台住宅地において新築分譲住宅の販売を

京王グループ事業概況



トラスティア北野(予想図)

行いました。また、定期借地権分譲マンション「トラスティア北野」の建設に着手し、モデルルームをオープンいたしました。

レジャー・サービス業

既存ホテルの競争力強化

ホテル業では、「京王プラザホテル(新宿)」において、お客様のニーズにあわせ、日本料理店2店舗やイタリアンレストラン1店舗を開業したほか、ロビーフロアのラウンジ2店舗の改装を実施するなど、新規顧客の獲得に努めました。「京王プラザホテル札幌」では、客室の一部や宴会場を改装するなど、他



京王プラザホテル(新宿)の改装されたカクテル&ティーラウンジ



「カレーショップC&C」有楽町店

のホテルとの差別化による競争力強化に努めました。

このほか、海外個人旅行専門店「トラベルファクトリー新宿」や「カレーショップC&C」有楽町店をオープンいたしました。

その他

グループ外への展開を強化

ビル清掃・管理業では、府中市から「府中市市民会館・中央図書館複合施設整備事業」のPFI事業者として選定されたほか、八王子市から「八王子市北野余熱利用センター」の指定管理者として選定されるなど、引続き京王グループ外への営業拡大に努めました。

このほか、宿泊機能を備えた体験型学習施設である「高尾の森わくわくビレッジ」が4月に開業し、2006年3月までの宿泊利用者は延べ2万7千人となり好調に推移しております。

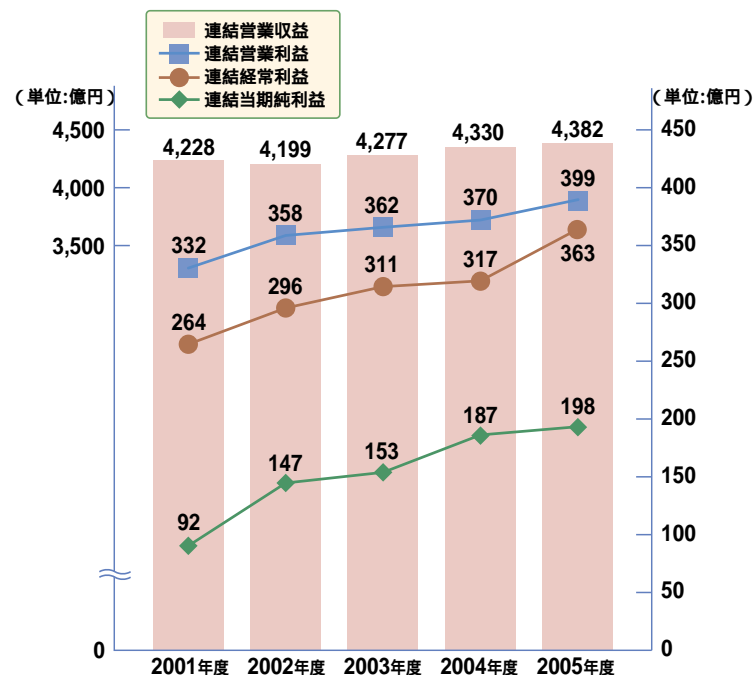


高尾の森わくわくビレッジ「プロジェクトアドベンチャー施設」

連結財務諸表 2005年度 連結決算

連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益とも過去最高益を連続更新

連結営業収益・連結営業利益・連結経常利益・連結当期純利益の推移



「連結中期経営計画」の実績

(単位:億円)

	2005年度	
	実績	目標
連結営業収益	4,382	4,500
連結当期純利益	198	200
連結ROA	7.4%	7.0%
連結ROE	10.6%	10.0%

連結ROA・連結ROEは当社内部管理用の経営指標であり、総資産・株主資本から有価証券の時価評価による影響を除いて算出しております。

連結ROA=(経常利益+支払利息)÷期首期末平均の総資産

連結ROE=当期純利益÷期首期末平均の株主資本

当期が最終年度となる「連結中期経営計画」との比較では、連結営業収益は目標値に到達いたしませんでしたが、連結当期純利益はほぼ目標を達成、連結ROA、連結ROEについては、目標を達成することができました。

2005年度の連結営業収益は、運輸業、流通業など、すべての事業セグメントで増収となり、4,382億円(前期比1.2%増)となりました。主な増収要因は、鉄道事業の輸送人員の増、ストア業や書籍販売業の新店の通期稼働、その他の事業における「高尾の森わくわくビレッジ」の開業などです。

連結営業利益は、レジャー・サービス業が減益となりましたが、運輸業など他のセグメントで増益となり399億円(前期比7.7%増)連結経常利益は、販売土地評価損の減などがあり363億円(前期比14.6%増)となりました。連結当期純利益は、京王プレッソインの3店舗(茅場町、五反田、池袋)につい

て、減損損失を特別損失に計上いたしました。198億円(前期比5.9%増)となりました。

この結果、連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益とも過去最高益を連続更新いたしました。

連結財務諸表 2005年度 連結決算

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (2005年度)	前 期 (2004年度)
【 資 産 の 部 】		
流動資産	99,659	82,994
固定資産	531,040	488,316
資産合計	630,700	571,311
【 負 債 の 部 】		
流動負債	158,124	140,862
固定負債	230,239	223,413
特別法上の準備金	4,692	7,038
負債合計	393,056	371,314
【 資 本 の 部 】		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,017	42,016
利益剰余金	108,651	92,601
その他有価証券評価差額金	43,155	19,624
自己株式	15,204	13,269
資本合計	237,644	199,997
負債及び資本合計	630,700	571,311

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (2005年度)	前 期 (2004年度)
営業収益	438,253	433,071
営業費用	398,316	395,974
営業利益	39,937	37,096
営業外収益	2,351	2,362
営業外費用	5,920	7,735
経常利益	36,368	31,723
特別利益	5,170	4,633
特別損失	8,005	4,368
税金等調整前当期純利益	33,532	31,988
法人税、住民税及び事業税	15,095	12,581
法人税等調整額	1,429	642
当期純利益	19,867	18,764

(備考)記載の金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (2005年度)	前 期 (2004年度)
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,944	45,524
税金等調整前当期純利益	33,532	31,988
減価償却費	28,183	27,509
減損損失	2,698	733
その他	9,470	14,706
投資活動によるキャッシュ・フロー	33,040	45,950
有形固定資産の取得による支出	34,975	48,319
その他	1,934	2,369
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,299	4,314
借入金・社債等の純増減額	1,357	3,772
配当金の支払額	3,722	3,755
その他	1,933	4,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	5
現金及び現金同等物の増減額(1)	17,609	4,735
現金及び現金同等物の期首残高	21,192	25,928
現金及び現金同等物の期末残高(2)	38,802	21,192

(1) + + +
(2) +

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	当 期 (2005年度)	前 期 (2004年度)
【 資 本 剰 余 金 の 部 】		
資本剰余金期首残高	42,016	42,017
資本剰余金増加高	1	-
自己株式処分差益	1	-
資本剰余金減少高	-	0
自己株式処分差損	-	0
資本剰余金期末残高	42,017	42,016
【 利 益 剰 余 金 の 部 】		
利益剰余金期首残高	92,601	77,688
利益剰余金増加高	19,867	18,764
当期純利益	19,867	18,764
利益剰余金減少高	3,817	3,850
1.配当金	3,722	3,755
2.取締役賞与	95	95
利益剰余金期末残高	108,651	92,601

京王電鉄 単体 財務諸表 2005年度 単体決算

貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (2005年度)	前 期 (2004年度)
【 資 産 の 部 】		
流動資産	33,952	32,226
固定資産	492,659	451,095
資産合計	526,611	483,322
【 負 債 の 部 】		
流動負債	131,663	121,988
固定負債	203,559	197,944
特別法上の準備金	4,692	7,038
負債合計	339,914	326,972
【 資 本 の 部 】		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,017	42,016
利益剰余金	58,955	49,470
その他有価証券評価差額金	41,902	19,107
自己株式	15,203	13,267
資本合計	186,696	156,349
負債及び資本合計	526,611	483,322

利益処分

(単位:百万円)

科目	当 期 (2005年度)	前 期 (2004年度)
(当期末処分利益の処分)		
当期末処分利益	22,579	21,093
利益処分額		
配当金(1株につき3円)	1,853	1,861
取締役賞与金	95	95
別途積立金	8,000	8,000
計	9,948	9,956
次期繰越利益	12,630	11,137

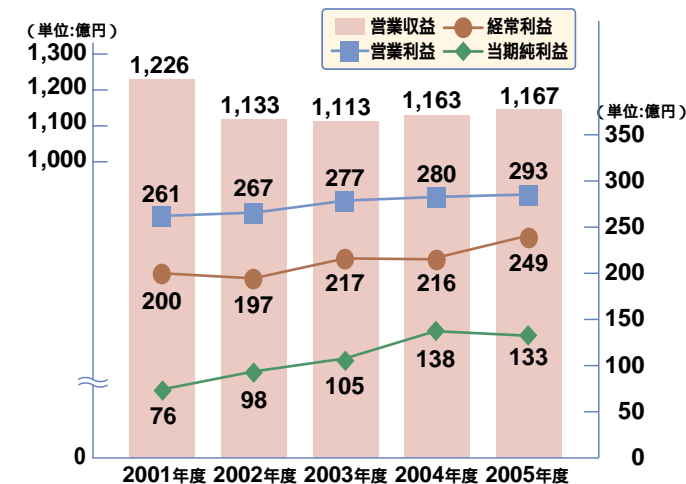
2005年11月29日に1,861百万円(1株につき3円)の中間配当を実施しています。

損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (2005年度)	前 期 (2004年度)
営業収益	116,796	116,358
営業費用	87,404	88,264
営業利益	29,392	28,093
営業外収益	1,222	929
営業外費用	5,644	7,392
経常利益	24,970	21,631
特別利益	4,398	4,066
特別損失	7,477	2,420
税引前当期純利益	21,891	23,277
法人税、住民税及び事業税	9,740	8,350
法人税等調整額	1,152	1,079
当期純利益	13,303	13,848
前期繰越利益	11,137	9,117
中間配当額	1,861	1,872
当期末処分利益	22,579	21,093

営業収益・営業利益・経常利益・当期純利益の推移



基本方針

京王グループの2006年度経営計画では、将来の経営環境を見据えた「基盤づくり」を進め、地域の発展と幸せな暮らしの実現に貢献し、京王グループの理念である「信頼のトップブランド」を目指す取り組みを推進してまいります。

特に鉄道事業における信頼性の向上と沿線価値の向上を最優先課題と位置づけております。

グループの基幹事業である鉄道事業において「安全」は最大の使命であり、最高の「サービス」です。安全対策への重点的な取り組みに加えサービス向上に努めるなど、さらなる信頼性、利便性、快適性の向上を図ってまいります。

また、京王のブランド力を活かし、沿線地域と共生していく施策とネットワークづくりを進め、沿線人口と鉄道輸送人員の増加につなげるとともに、グループにおける将来の事業の芽を見出してまいります。

【今後の取り組み】

1 鉄道事業におけるさらなる信頼性の向上

信頼の根幹をなす安全性をさらに高めるため、安全管理体制をさらに強化するとともに、自動列車制御装置(ATC)の導入による信号システムの改良に着手するほか、地下火災対策や構造物の耐震性向上策を引続き進めてまいります。



京王線9000系車両



高幡不動駅、京王高幡ショッピングセンター(予想図)

調布駅付近連続立体交差事業については、2012年度の完成を目指し引続き事業を推進してまいります。さらに、京王線笹塚以西の鉄道立体化によるボトルネック踏切の解消に向け、関係機関との協議を積極的に実施いたします。

高幡不動駅改良工事を完成させるほか、桜上水駅や西永福駅でエレベーターや自由通路を備えた橋上駅舎化工事に着手いたします。

分倍河原駅や井の頭公園駅など7駅にエレベーターを設置するとともに、車内電光表示板などの設備を備えた車両の新

造・改造を行うなど引続きバリアフリー化を進めてまいります。

関東地区の多くの交通事業者との相互利用が可能となる共通ICカード乗車券「PASM(パスモ)」を導入いたします。



共通ICカード乗車券「PASMO」

2 沿線拠点開発の推進

京王線、井の頭線の拠点駅周辺地区において、将来構想を検討してまいります。また、聖蹟桜ヶ丘地区全体の再整備計画の策定など、沿線での新しい事業展開の可能性を検討してまいります。建設中の定期借地権分譲マンション「トラステア北野」を販売いたします。

3 グループ事業競争力の強化

京王リトナード稲城・八幡山、フレンテ明大前、京王高幡ショッピングセンター第2期工事など新規商業物件の開発を進め、グループの事業機会を創出してまいります。

京王プレッソインについて、営業休止3店舗の早期営業再開に向けた建替え工



フレンテ明大前(予想図)



京王リトナード稲城(予想図)

事の着手、および新規出店の物件確保に取り組んでまいります。京王百貨店(新宿店)で、新規のお客様の獲得と既存のお客様の深耕を目指し、コンセプトである「新・大人の生活へ」の具現化に向けた改装を実施いたします。

4 沿線価値の向上

鉄道とバスの連携をさらに推進するほか、バリアフリー化に伴う駅舎の橋上化にあわせて、自由通路を設置するなど、利便性の高い街づくりに寄与してまいります。また、沿線が将来にわたって活力を維持できるように、沿線のお客様のニーズに応える、きめ細やかな生活サービスの提供を進めてまいります。

5 経営体制の整備

京王グループでは、すべてのステークホルダーから信頼いただき、企業価値向上を実現するために、内部統制システムの構築に積極的に対応していくことで、コーポレート・ガバナンスのさらなる強化を図ってまいります。内部監査の充実、強化を図ってまいります。

取締役会の諮問機関として設立した「指名・報酬委員会」の活動を推進し、経営の透明性の向上を図ってまいります。「ディスクロージャー委員会」の運営等による適時適切な情報開示を行ってまいります。

6 環境経営への取り組み

グループ全体での環境マネジメントシステム(EMS)構築を目指した取り組みを実施いたします。

高尾の森わくわくビレッジにおける環境保全に関連する社会教育プログラムの開発を支援いたします。

VVVFインバータ制御装置を搭載した新造車両を導入するほか、既存車両のVVVFインバータ化を実施し、鉄道車両の省エネルギー化を目指してまいります。

当社グループの基幹事業である鉄道事業にとって安全は最大の使命であり、最高のサービスです。地域の公共交通を担う社会インフラとして、安定した経営の確保に努めるとともに、安全対策、バリアフリー化、サービス向上のための設備投資を積極的に行い、「信頼のトップブランド」を目指します。

ここでは、お客様の信頼の根幹をなす安全性をさらに高めるための施策について、紹介させていただきます。

自動列車制御装置 (ATC) の導入

2005年4月に発生したJR西日本福知山線における脱線事故等を受け、「鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の一部を改正する省令」が国土交通省から公布されました。省令の改正では、曲線・分岐器・線路終端等へ列車が進入する際に、安全上支障のない速度まで自動的に減速させることや、停車駅の誤通過により遮断していない踏切への進入を防ぐことができる装置の導入を義務付けています。

現在、運転用の信号システムとし

てATC（自動列車停止装置）を採用しておりますが、このたびの技術基準の改正に基づき、曲線や分岐器などで列車の速度を制限すると、現行の所要時分や運転本数を維持できなくなります。

したがって、列車運行のさらなる安全性の向上と現行の運行サービス水準の確保を図る目的で、信号システムの抜本的な改良として、ATC（自動列車制御装置）を、京王線・井の頭線全線に導入することいたしました。

また、このような施設面の増強に加え、従業員教育の充実や組織の見直し

など安全管理体制を一層強化し、さらなる安全性の向上に努めます。

駅施設・高架橋などの安全対策

地下火災対策

韓国における地下鉄火災の発生にもなう地下鉄道の火災対策基準、および東京都の火災予防条例の改正に基づき、新宿駅で排煙設備など火災対策の充実・強化を図るとともに、幡ヶ谷駅で二方向避難路などを設置します。

地震対策

阪神淡路大震災後の緊急耐震補強を1996年度に完了していますが、新たな耐震基準に見合う構造物とするため、引続き高架橋柱などの補強工事を実施します。



踏切安全対策

京王の踏切には、遮断桿が降りた後に、踏切内で立ち往生した自動車などを自動的に検知する踏切障害物検知装置、あるいは、踏切内で事故発生の危険性が生じた場合に列車に異常を知らせるための非常ボタン（踏切支障報知装置）が設置されています。さらなる安全性向上のために、自動踏切障害物検知装置が設置されている踏切にも非常ボタンを設置します。

また、すべての踏切に、遮断桿が降りた後での踏切内への進入を防ぐため、くぐりぬけ防止の啓発テープを設置したほか、歩行者の安全を確保するため、踏切内の車道と歩道を明確に区分するカラー舗装化を実施いたしました。



歩道部分のカラー舗装化 くぐりぬけ防止啓発テープ

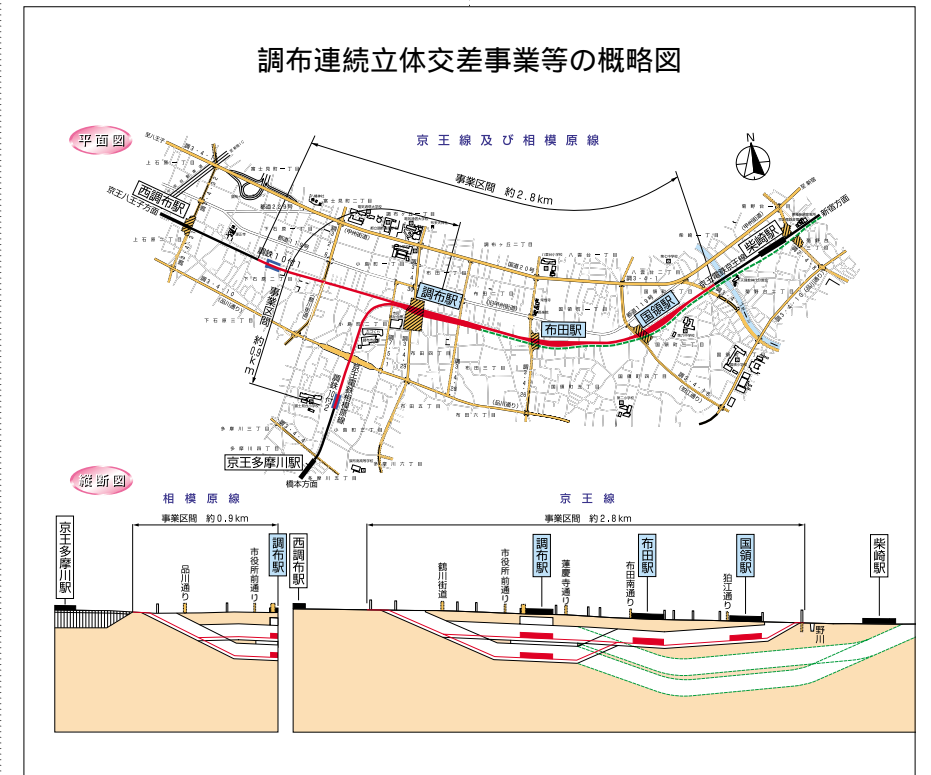
鉄道立体化による抜本的な踏切対策

調布駅付近では、連続立体交差事業を2012年度の完成を目標に東京都・調布市と協力しながら進めています。この事業では、京王線の柴崎駅～西調布駅間の約2.8kmと相模原

線の調布駅～京王多摩川駅間の約0.9kmを地下化し、鶴川街道や狛江通りなどの道路と立体交差させ、合計で18箇所の踏切を廃止します。

このほか、京王線笹塚以西のボトルネック踏切解消に向け、関係機関と鉄道立体化の協議を積極的に進めてまいります。

調布連続立体交差事業等の概略図



会社概要・役員一覧・株式の状況

会社概要

会社設立
 1948年6月1日
本社所在地
 〒206-8502 東京都多摩市関戸1丁目9番地1
資本金 590億23百万円
従業員数 2,142名
 (2006年3月31日現在)

役員

取締役会長 (代表取締役)	三枝 正幸
取締役社長 (代表取締役)	加藤 隼
常務取締役	下村 良太
常務取締役	鈴木 豊明
常務取締役	松木 謙吉
常務取締役	島倉 秀市
取締役	永田 正
取締役	林 静男
取締役	宮地 徳文
取締役	五味 保雄
取締役	早崎 博
取締役	石橋 三洋
取締役	宮田 洋一
取締役	坪地 宏昌
取締役	鈴木 紘一
取締役	田中 茂生
取締役	奥島 博之
取締役	内藤 雅浩
常勤監査役	中野根 二郎
常勤監査役	齋地 健一
監査役	川嶋 一弘
監査役	土屋 知夫

(2006年3月31日現在)

株式の状況

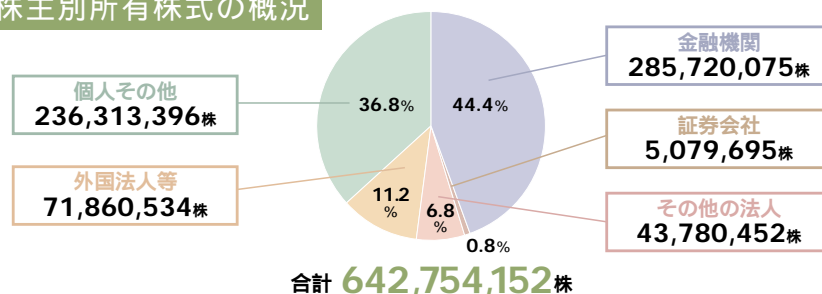
(2006年3月31日現在)

発行可能株式総数 1,580,230,000株
発行済株式総数 642,754,152株
株主数 37,768名(前期末比212名増)
大株主

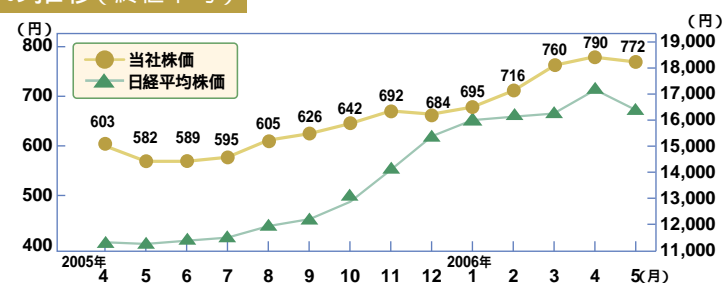
株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
日本生命保険相互会社	44,948	6.99
第一生命保険相互会社	31,750	4.94
太陽生命保険株式会社	29,310	4.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	24,662	3.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,413	2.86
住友信託銀行株式会社	18,240	2.84
株式会社三菱東京UFJ銀行	10,589	1.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井信託銀行退職給付信託口)	10,000	1.56
富国生命保険相互会社	9,590	1.49
株式会社みずほコーポレート銀行	8,000	1.24

当社は自己株式を24,984千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株主別所有株式の概況



株価の推移(終値平均)



株主の皆様へ

住所変更手続きのご案内

株主様への郵便物は、株主様にご登録されているご住所に発送いたします。郵便物を確実にお届けするため、ご転居や住居表示(町名・番地など)の変更がございましたら、住友信託銀行証券代行部までお知らせください。住所変更用紙を送付いたしますので必要事項をご記入の上、住友信託銀行までご返送ください。

また、株券保管振替制度をご利用の株主様は株券を預託された証券会社へ住所変更の旨お知らせください。

配当金の銀行口座・郵便貯金口座への振込みサービスのご案内

当社では、株主様への配当金の支払方法につきまして、郵便局において現金でお受取りいただく方法のほかに、株主様の銀行口座または郵便貯金口座へ振込むサービスを行っております。

このサービスをご利用いただくことにより、配当金のお受取りの際、郵便局の窓口で郵便振替支払通知書と現金をお引換えいただく必要がなくなります。

お申込み、詳しいお手続き方法等は住友信託銀行証券代行部までお問合せください。

株主メモ

1. 決算期 3月31日
2. 定時株主総会 6月
3. 同総会議決権行使株主確定日 3月31日
4. 配当金受領株主確定日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
5. 公告の方法 当社ホームページに掲載する
6. 公告掲載URL
www.keio.co.jp/kigyo/ir/koukoku.html
7. 株主名簿管理人 住友信託銀行株式会社
8. 同取次所 住友信託銀行本店および全国各支店

郵便物送付先
 〒183-8701
 東京都府中市日綱町1番10
住友信託銀行証券代行部

電話照会先
 住所変更等用紙のご請求
☎0120-175-417
 その他のご照会
☎0120-176-417

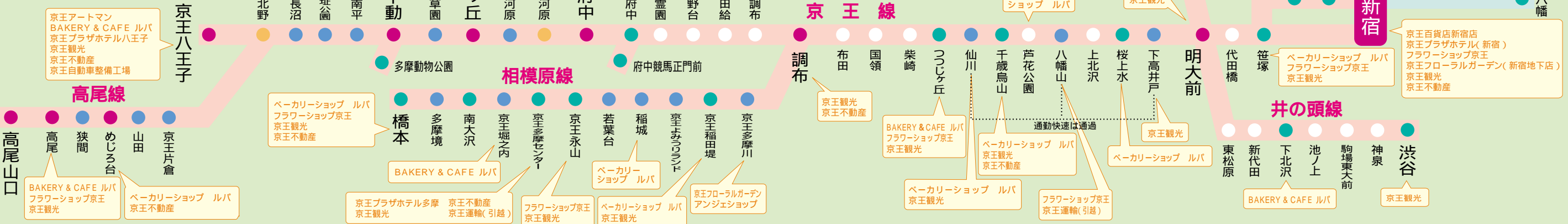
インターネットホームページURL
www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

株主優待割引のご紹介

沿線でグループ会社優待割引(1,000株以上)がご利用になれる店舗

路線案内

- 特急・準特急・急行・快速・通勤快速・各停 停車駅
- 準特急・急行・快速・通勤快速・各停 停車駅
- 急行・快速・通勤快速・各停 停車駅
- 快速・通勤快速・各停 停車駅
- 各停 停車駅



京王の株主優待制度 1,000株以上の株主の皆様はグループ会社優待割引をご利用いただけます。

ご優待内容	株主優待乗車証 ご所有株式数	1枚1乗車有効の 電車全線優待乗車券	優待バス
	1,000株以上 30,000株未満	1,000株ごとに4枚	—
	30,000株以上 57,000株未満	30枚	電車全線優待バス 1枚
	57,000株以上	40枚	電車・バス全線優待バス 1枚

京王百貨店

京王プラザホテル
チェーン

京王観光

京王自動車

京王運輸

京王アートマン

京王グループサービス
フラワーショップ京王
ブルーミング
京王フローラルガーデン

京王食品
ベーカリーショップルバ
BAKERY & CAFE ルバ

京王不動産

株式購入についてはお近くの証券会社まで

株主優待は半年に一度、送付いたします。

3月31日現在の株主の皆様	5月末送付	有効期間 6月~11月
9月30日現在の株主の皆様	11月末送付	有効期間 12月~翌年5月

株主優待についての
お問合せ **042(337)3114**

京王電鉄 総務部総務担当

京王電鉄バス・京王バス東・京王バス中央・京王バス南・京王バス小金井各社の路線をご利用いただけます。
なお、高速バス・空港直行バス・深夜急行バス等特殊バス、西東京バス・多摩バスではご利用いただけません。

株主優待割引施設紹介

株主優待 宿泊 20%割引 飲食 10%割引(2,100円以上のご利用につき)

京王プラザホテル(新宿)

京王プラザホテル(新宿)のレストランに、新たな食の魅力が加わりました。本館2階の新和食「かがり」は、産地にこだわった素材で、新しい「和」のテイストをご提供しています。同じ本館2階の日本料理「懐石 蒼樹庵」は、ホテルの中の料亭をイメージした雰囲気や懐石料理をご堪能いただけます。なお、両店とも個室をご用意しております。ご家族の会食や親しい方との会合などにお気軽にご利用下さい。

ご予約・お問合せ
☎03-3344-0111(代表)
www.keioplaza.co.jp

京王プラザホテル札幌

京王プラザホテル札幌の客室&フロア(19階・20階)が、洗練された都会をイメージさせるスタイリッシュな空間に生まれ変わりました。特に、空間を構成する材質・質感・色・モジュール、そしてその組合せにこだわり、心地よい緊張感とやさしい静寂で包みこむ空間を創造しました。新たに進化した京王プラザホテル札幌で上質な時間をお過ごし下さい。

ご予約・お問合せ
☎011-271-0111(代表)
www.keioplaza-sapporo.co.jp

- トップ
- メッセージ
- 連結決算上の
- 事業セグメント分類
- 京王グループ
- 事業概況
- 連結財務諸表
- 京王電鉄単体
- 財務諸表
- 京王グループ経営計画
- 2006年度
- KEIO VISION
- 会社概要
- 株主の皆様へ
- 株主優待制度のご案内

沿線風景



高尾の森わくわくビレッジ

「高尾の森わくわくビレッジ」は、青少年が自然や人々にふれあう中で豊かな感性や創造性、健全な社会性を育む体験型コミュニティパークで、2005年4月にオープンしました。この施設は、閉校した都立八王子高陵高校の校舎・体育館などの跡地施設を有効利用し、PFI方式^{注1}により京王グループが東京都から施設の改修・整備、オープン後の運営・管理を受託し、東京YMCAグループの協力を得て事業を行っています。

キャンプや野外炊事ができるゾーンや、子どもたちが自由に遊べるツリーハウスなどのほか、研修室・音楽室などを備えています。さらに約200名を収容できる宿泊施設を併設、様々なプログラムをもとに楽しさ・驚き・感動を体験できます。

- 【交通】京王線「高尾駅」(新宿から準特急で約42分)下車。北口バス乗場から多摩バス「高尾の森わくわくビレッジ」行き。終点下車(約14分)歩く
- 【宿泊料金】1人1泊3,150円(子ども1,575円)から。食事代は別途。
- 【お問い合わせ】高尾の森わくわくビレッジ ☎042-652-0911
- 【住所】〒193-0821 東京都八王子市川町55
- 【ホームページ】www.wakuwaku_village.com

【注】PFI(Private Finance Initiative)とは、民間資金主導型の公共施設整備の手法で、従来公共部門が提供してきた公共サービスを民間主導で行うことにより、公共事業のコストを削減し、質の高いサービスを提供する仕組みです。

表紙の言葉



表紙は、2006年3月から都営新宿線に相互乗り入れを開始した新造9000系車両と、京王新線新宿駅地下通路に2005年10月に誕生した商業施設「フレンテ新宿」です。

京王線9000系車両は、車いすスペースや車内電光表示板など各種バリアフリー設備を装備し、省エネルギー化が図られた新型車両です。

フレンテ新宿は、西新宿オフィス街のビジネスマン・ビジネスウーマン・学生などをターゲットとした、「楽しく寄り道ができるショッピングストリート」をテーマに、毎日の生活にちょっとした喜びや驚きを感じられる11店舗から構成されています。

株主優待のことなら……

株主優待についてのお問合せ

☎042-337-3114 京王電鉄 総務部総務担当

京王ホームページ

www.keio.co.jp

IR・企業情報のコーナーでは、株主優待制度・財務情報・株式情報などを掲載しています。

京王の電車・バスのことなら……

電車の乗り継ぎ案内(携帯電話)

[www.keio.co.jp/\(i\)/\(j\)/\(e\)](http://www.keio.co.jp/(i)/(j)/(e))

高速バスインターネット予約(携帯電話)

「ハイウェイバスドットコム」[www.highwaybus.com/\(i\)](http://www.highwaybus.com/(i))

路線バス時刻表検索(携帯電話)

「バスナビドットコム」[www.bus-navi.com/\(i\)/\(e\)](http://www.bus-navi.com/(i)/(e))

けいおう
INVESTOR'S GUIDE
2006年6月発行

【お問合せ】広報部

☎042-337-3106

発行/京王電鉄株式会社

〒206-8502 東京都多摩市関戸1-9-1

